

一 般 質 問 通 告 書

令和4年第1回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	南 有 隆	1 教育現場の働き方や業務、魅力づくりについて	(1) 働き方改革において変形労働時間制の導入が検討され働き方が見直されているが与論町の教育現場の働き方はどのようにになっているのか伺いたい。 (2) 学校や教職員の業務改善や魅力ある学校づくりをしなければ先生不足や生徒確保等の問題が解決できないと思うが、どの様に取り組むべきと考えているか伺いたい。	教 育 長 教 育 長
		2 災害対策及び防災・減災への取り組みについて	(1) ここ最近自然災害が多発している。災害が起きた時の対応、防災・減災の取り組み、水や食料などの備蓄状況、避難経路の策定はどのようにになっているのか伺いたい。	町 長
2	林 敏 治	1 大津波発生の危機管理対策	(1) 先日、トンガ沖で発生した大規模海底火山噴火の影響で奄美群島などに津波警報が発令された。本町においても町民が大変な警戒と緊張感の中で、不安な一夜を過ごした。津波発生の対策は避難行動の周知を徹底し、明確な高台など避難場所への指示や迅速かつ適正な対応が求められる。今後、大津波の発生に備え、大規模訓練を実施し防災対策及び危機管理体制の強化を図る必要があると考えるが、町長はどのように認識しどう対策を講じる考えか。 (2) 大規模な自然災害が発生した時、役場の役割は町民の命と安全、暮らしを守ることであるが、子どもや高齢者をはじめ、障害のある住民を守るために、地震、津波から避難させるためには今後どのような対策を講じていく考えか。	町 長 町 長
		2 漂着軽石の有効活用について	(1) 本町に軽石が漂着してから、多くのボランティアや団体組織等による除去作業が行われ、海岸線一帯が徐々に回復してきたが、回収した軽石の山をこのまま放置しないよう、宝の山に有効活用して再利用できるよう方策を検討する考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年第1回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
3	沖 野 一 雄	1 人材の育成と確保対策について	(1) 新年度施政方針の中で、5つの重点策の1つに人材の育成・確保を掲げて、施策の中核となる「特定地域づくり協働組合」を設立するがあるが、その規模や内容の具体について伺いたい。 また、官民連携の組織体構築により、起業家人材の育成を進めると明言されているが、具体的な取り組み方策及び期待される事業成果等についても併せて伺いたい。	町 長
		2 中高一貫教育に係る新たな方向性について	(1) 新年度から導入される新学習指導要領に基づいて、県立与論高校が知識編重の成績評価からの脱却を目指す、とのニュースが耳目を集めている。この与論高校の革新的な試みと方向性に対する教育長の認識と評価、中学校や小学校との新たな連携の進め方などについて伺いたい。	教 育 長
		3 役場の窓口業務等の改善について	(1) 町民の利便性やサービス向上のために、いわゆる「書かない窓口」を導入する自治体が増えつつあると聞くが、書面主義や押印原則、対面主義の見直しなどについて、現状と課題の認識、今後の年次的な改善見通しなどについて伺いたい。	町 長
4	喜 山 康 三	1 就業管理や人事、採用の在り方の改善に取り組み、住民サービス向上を図る考えはないか。	(1) 窓口や担当者が判らない、対応が遅い、文書送付が遅い、外勤中に私用を行っているのではないか等、苦情や指摘がある見解を伺いたい。 (2) 非常、日常業務における職員の配置、適材適所、男女役割分担、管理職養成などを念頭において人事、採用等が行われているか見解を伺いたい。 (3) 業務全般を精査しアウトソーシングできる事業は委託あるいは委嘱等を進め行政事務作業のスリム化を進める必要はないか見解を伺いたい。	町 長 町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年第1回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
5	原 栄 德	1 持続可能な社会の実現に向けての与論町の取り組みについて	(1) 持続可能な社会の実現を目指すため、世界が共通の目標に向かって取り組みを進めている。脱炭素社会の実現 2050 年・SDGs 2030 年について与論町としての考え方、各課における取り組み状況とそれぞれの目標年における達成見込みを伺いたい。	町 長
6	野口 靖夫	1 畜産振興と牛糞尿処理対策と堆肥センターの優良完熟堆肥の生産について。	(1) 令和4年度施政方針の内容から伺います。畜産の振興として、衛生環境の充実を図るため、堆肥舎や畜舎整備等への一部助成、敷料供給等とあるが、具体的な内容を伺いたい。また、関連して堆肥センターの改善と優良完熟堆肥の生産も必要と思われるが、どのように考えているか伺いたい。	町 長
		2 脱炭素社会の実現に向けた本町の考え方について。	(1) 国は 2050 年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言しており、県においても「かごしま未来創造ビジョン（改定素案）」の中に、脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生を目標に定め方向性を決定している。本町においても基本構想と実施計画（仮定）案を策定する必要性があると思われるが、どのように考えているか伺いたい。	町 長
7	林 隆 壽	1 与論町のあらゆる災害等に対する備えについて	(1) 1月16日未明の突然の津波警報に対し、本町においての避難状況や対策に問題点がなかったのか、また、問題点の洗い出しや検討を行い、各種災害対策の見直しを行い、災害対策の再構築を図る考えがあるか、さらに、平日の授業中の津波発生に対する小中学校の避難対策についても伺います。 (2) 南海トラフに関する対応についての国や県への情報収集や対応についてどのような対策を行っているか伺います。	町 教 育 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年第1回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			(3) 災害等に対処する備蓄については、基本的には個人毎に準備する事が当然ではあるが、生活弱者に対する最低限生活必需品等の備蓄について、町長の認識と対応について伺います。 (4) 台湾有事に対する状況を想定したとき、海上輸送、航空路などの民間の輸送機関が運航禁止になると想定されるが、町長の認識と、対応について伺います。	町 長
		2 与論町における SDGs への取り組みについて	(1) 現在の具体的な取り組みについて伺います。	町 長
8	大 田 英 勝	1 小中学校の校則の見直しについて	(1) 令和3年6月に文部科学省から「校則の見直し等に関する取組事例について」との通知が出された。鹿児島県教育委員会の調査では、県内の全ての公立小中学校・全日制県立高校が2020～21年度に校則の見直しを行ったか、見直す予定であるとの結果であった。そこで、本町の小中学校での見直し状況はどうなっているのか伺いたい。 (2) 見直しに当たっては、教職員や児童生徒、PTAや地域代表等で構成する「校則見直し検討委員会（仮称）」等を立ち上げ、その中で検討していくのが良いと考えるが見解を伺いたい。 (3) 時代にそぐわない、所謂ブラック校則を生まないためにも、定期的な見直しの仕組み作りが必要だと考えるが見解を伺いたい。	教 育 長 教 育 長 教 育 長
		2 観光施設の有効活用について	(1) 大金久海岸北側の砂浜奥にコンクリート製の施設があるが、この施設はいつ頃どのような目的で建設され、建設後どのように活用されて来たのか伺いたい。とても魅力的な施設に見えるが、残念ながら今は砂に埋もれてあまり利用されていないように思われる。近くに現在建設中の「渚の交番」とも連携させる等、一層の有効活用を図っていただきたい。	町 長